

シラハノダケ

学名 *Angelica cartilaginomarginata* (Makino) Nakai var. *matsumurae* (H. Boiss.) Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が狭く、主として火山地域の草原に生える。生育地、個体数ともに僅少。草原の開発、野焼きの停止などで消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	四国,九州(大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部)
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現状	生育地は点在し,個体数も僅少。草原開発や植生遷移の進行などで消滅した所がある。
備考	ヒメノダケ(<i>Angelica cartilaginomarginata</i>)と類似している。大陸系遺存植物。九州は分布の南限域にあたる。